



文：小川 康成

～ 脊髄損傷も治る技術 ～

こんにちは、急激に暑い日が続き、体もびっくりしていませんか？この時期は暑さに体がついて行かず、熱中症になり易いそうです。のどが渇く前の水分補給を心掛けたいですね。

さて、マスコミ等でも取り上げられていましたが、これまで治療が困難とされてきた脊髄損傷を回復させる世界初の再生医療が5月より始まりました。

完全麻痺の人が改善するケースや、大半の患者に有効性を示しているそうです。

脊髄損傷の受傷原因は、意外にも大半が日常生活内で、交通事故 36.2%、転落 33.8%、歩行時の転倒 10.0%と全体の80%になります。

【 世界初！常識を覆す新たな医療 】



その名も「ステラミック^R注」という再生医療製品で、

効能・効果は、脊髄損傷に伴う神経症候及び機能障害の改善としています。

つまり、患者本人の骨髄液中の成分から間葉系細胞という万能細胞を取り出し、

2週間かけて1万倍程度に培養して、点滴で戻すと傷ついた脊髄が再生され、回復します。

効果が高い治療で、実際に札幌医大で治療が行われていますが、

- 治療薬価が保険適用前で、1回分 1,495万7,755円 *一時金で必要
- 脊髄損傷から30日以内の重症患者で、ケガから2週間以内の入院

と要件が高く設定されています。

なお、健康保険は暫定で7年以内に認められていますが、損傷から30日以内で、2週間以内に札幌医大へ入院する事が条件となっています。

家族が事故で脊髄損傷になり、一生車いすかも知れないとお医者さんから言われたら、きっと試してみたい治療法ですね。

*今後、2019年度から他の医療機関にも展開して行く計画のようです。

脊髄損傷は国内で毎年約5,000人の新規患者さんが発生し、累計では10万人を超えていると言われています。患者さんの平均余命は健常人と変わらなくなっていますが、脊髄損傷で生じた麻痺で寝たきりや車いす生活を余技なくされている方も多く、潜在的な需要の多い治療法です。

1,500万円という薬価には驚きますが、得る事の出来るQOL（生活の質）を考えれば、納得もできそうでしょうか？



歩きスマホで、転落や転倒し『重大な後遺症』を残すケースが若い人にも増えているそうです。便利な道具も、安全をしっかりと気にして使用したいですね。

メンバー 近況報告

よしもと新喜劇

高校の同級生と一緒に大阪のなんばグランド花月によしもと新喜劇を観に行ってきました！もともとは観光の予定でしたが、知り合いが最前列のチケットを取ってくれたので新喜劇を観ることになりました。テレビでは見たことがありましたが、生で見たことがなく前から見てみたいと思っていたのでラッキーでした。新喜劇が始まる前には何組かの漫才もあり、テレビに出ているミキさんや博多華丸・大吉さん達の漫才を生で見ることができました。会場のお客さんのことをいじったりとテレビでは見られないところが見られ、とてもおもしろかったです。



昼からの公演を見たのですが、終わって出てみると入り口にすごい数の人がいてびっくりして大人三人で迷子になりかけました（笑）新喜劇は一週間同じ演目をやるそうで平日（特に前半）はセリフを間違えたり、試行錯誤しながらやっていて未完成な感じが面白いそうなので今度は平日の新喜劇を観てみたいと思います。

岩瀬 英之

5月の猛暑

5月下旬に全国的に猛暑日となりました。北海道佐呂間町では39度5分を記録し、本州でも5月の最高気温を更新したところが多かったそうです。愛知も暑かったですね(^_^)

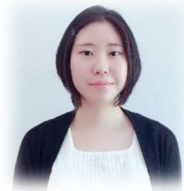
夏がもう来てしまったのかと思う程暑かったです、上空ジェット気流の大きな蛇行が原因だったとか。5月に猛暑日を観測するのは珍しいことで、今回は初という地域も。

この暑さで熱中症も増えており、食中毒注意報も出ています。まだ体が暑さになれていないので体調を崩しやすくなっているのが注意が必要です。

最近5月下旬に運動会が行われている学校が増えているそうですが、せっかく秋の暑さを避けたのにこの暑さ…。天候はどうしようもないことではありますが、大変ですね。

今の時点でこんなに暑くては、夏本番はまた昨年のように災害級の暑さになってしまうのでは？と不安です。

今のうちから水分補給を習慣付けておきたいですね。



小池奈菜子

～長野流れ旅～

4/26～5/3まで大人3名、猫一匹で旅をしてきました。まず最初は長野県庁の近くでハヤブサ（鳥）のエサ渡しを見てその後、戸隠をめざし走行。ところが戸隠は吹雪で車から外に出ることも出来ず、桜も水芭蕉も全然咲いていません。名物のそばを食べて早々に引きあげ、途中丹霞郷の桃畑や樹齢1200年の神代桜を見てきました。



その後、国営アルプスあずみの公園で行われている『2019年信州花フェスタ』の会場に行き、満開のチューリップを見てから諏訪湖へ行き、原田泰治美術館と北沢美術館を見てから片倉館の立って入る“仙人風呂”に行きました。文字通りの流れ旅なので、行き先も前日か当日に決まりますので「次はどこへ行こう？」という事になり、伊那の“かんでんぱば”に寄ってから天竜舟下りをして、その後は阿智村の花桃の里に寄ったのですが、すごい人で、駐車場が遠くて大変でした。でも、赤、白、ピンクの1万本の花桃は想像していたよりきれいでびっくり。ここは近いから皆さんも、一度見学されたら良いと思います。

小川 とも子

